FRB-5 リレーユニット

お買い上げになりました**FRB-5**は，当社の50MHz帯トランスバーター“**FTV-1000**”をHFトランシーバー“**FT-1000MP**”で使用できるようにする改造ユニットで，**FT-1000MP**に取り付けて使用します．なお，運用するためには，**FTV-1000**用の外部電源として，当社のAC電源“**FP-29**”が別途必要となります．

ご注意

FRB-5の取り付けを行うときには，**FT-1000MP**の**POWER**スイッチを“**OFF**”にするとともに，電源コードを本体背面の**AC**ジャックから外した状態で行ってください．

なお，**FRB-5**の取り付けを営業所／サービスにご依頼になる場合は，所定の工賃を別途申し受け致しますのでご了承ください．

構成品

Connection Unit 1
両面テープ 2
スポンジシート 1
束線バンド 3
接続ケーブルA（50 cm） 1
接続ケーブルB（1.2 m） 1

取付方法

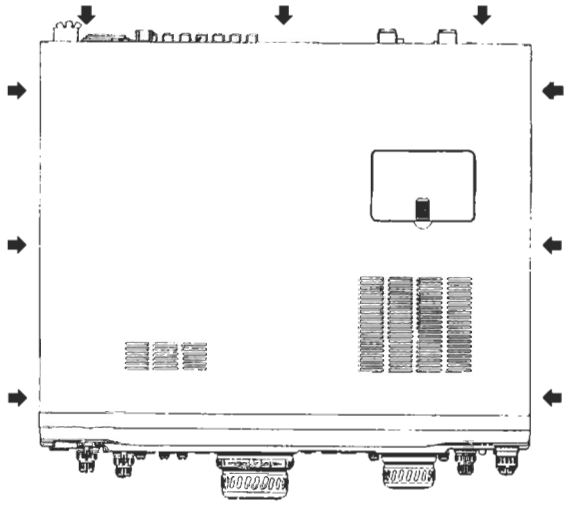
- ❒ 第1図を参考に，**FT-1000MP**の上ケースを取り付けているビス9本を外し，上ケースを取り外します．
- ❒ 第2図に示したように，内蔵スピーカーとALC UNITに挟まれたスペースが**FRB-5**の取付位置です．
- ❒ ALC UNITの**J6808**に接続されている6ピンコネクターを外し，Connection Unitの**J1001**に接続します．
- ❒ Connection Unitから出ている6ピンコネクターをALC UNITの**J6808**に接続します．
- ❒ 付属の接続ケーブルA（短いほう）を**FT-1000MP**背面の放熱器スリットから通し，ヒートシンクのスリットに這わせて配線し，Connection Unitの**J1003**に接続します．
- ❒ 付属の両面テープを使用して，Connection UnitをFT-1000MP本体に貼り付け，接続ケーブルAが動かないように，付属のスポンジシートで線材を挟み，ヒートシンクのスリットに差し込んで固定します．
- ❒ 付属の束線バンドを使用して，各線材を固定します．
- ❒ 以上での取り付けは終了です．元通りに上ケースを取り付けます．
- ❒ **FT-1000MP**背面の放熱器スリットから出ている接続ケーブルAのコネクターに付属の接続ケーブルBを接続し，反対側の6ピンコネクターを**FTV-1000**の**DC POWER OUTPUT**に接続します．
- ❒ 第3図，第4図を参考に，その他の接続ケーブルを接続します．

使いかた

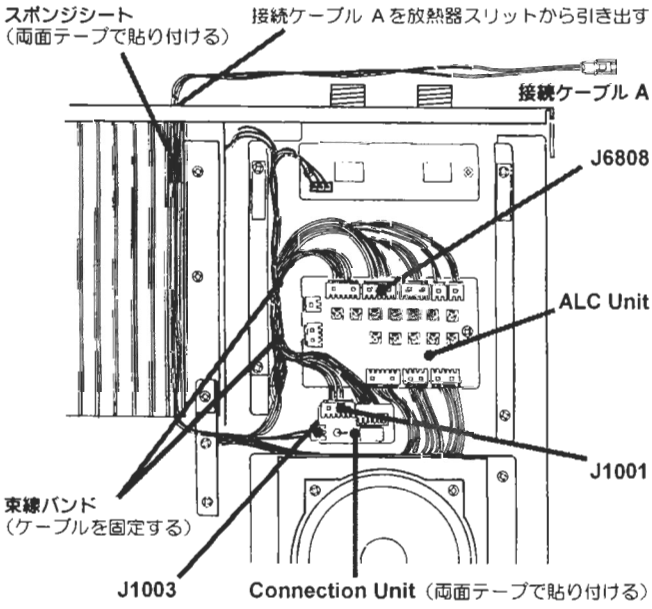
基本的な使いかたは，**MARK-V** FT-1000MPと組み合わせたときと同じで，**FTV-1000**の電源を“**OFF**”にすることでHF帯の運用，**FTV-1000**の電源を“**ON**”にすることで50MHz帯の運用が行えます．詳しい操作方法は，**FTV-1000**の取扱説明書を参照してください．

⚠ “HF帯での運用”／“50MHz帯での運用”に関わらず，AC電源“**FP-29**”のPOWERスイッチは常に“ON”の状態でお使いください．**FP-29**のPOWERスイッチを“OFF”にすると，**FT-1000MP**のPA UNITに電源が供給されず，HF帯で送信することができなくなります．

一部の**FT-1000MP**では，パネル上面のALC UNITに送信パワーアンプを“ON/OFF”する切り替えスイッチ“**TRV**”があります．この場合，**TRV**スイッチは常に“NOR”側で使用してください．



第1図



第2図

製造元・株式会社バーテックス スタンダード
〒153-8644　東京都目黒区中目黒4-8-8